

令和7年度 第4回議会改革推進会議次第

日時：令和8年1月16日 午後1時～
場所：議事堂第3委員会室

1 開 会

2 協議

議場見学の機会を活用した小学生の主権者教育について

3 報告事項

(1) 広報編集委員会の取組について

(2) IT活用検討委員会の取組について

3 その他

4 閉 会

<資料>

- ・資料1 議場見学の機会を活用した小学生の主権者教育
- ・資料2 広報編集委員会の取組み
- ・資料3 オンライン委員会の検証実施について（結果報告）

<今後の協議予定事項>

- ・令和7年度議会改革に関する行動計画の進捗状況について（2月）

令和 8 年 1 月 16 日
議会事務局議事課

議場見学の機会を活用した小学生の主権者教育

1 議場見学（学校・団体）の受入状況

項目	R 5	R 6	R 7
受入件数 計	1 5	2 3	1 1
大人	1 0	1 2	8
小学生	5	1 1	3
受入人数 計	3 7 9	7 2 8	2 6 1
大人	2 3 2	2 8 6	1 6 1
小学生	1 4 7	4 4 2	1 0 0

* R 7 は 12 月末現在

2 近県における議場見学（学校・団体）の状況比較

項目	富 山	石 川	福 井
相違点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傍聴席だけでなく、議場内の見学可（議員席/議長席/執行部席/知事席に座って撮影可） ・ 受付/説明：議会対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議場内の見学不可 傍聴席のみ ・ 受付/説明：他課対応（団体見学コースの一つ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傍聴席だけでなく、議場内の見学可（議員席/議長席/執行部席/知事席に座って撮影可） ・ 受付：他課対応（団体見学コースの一つ 議場説明は議会対応）
見学先	議事堂	行政庁舎/議事堂傍聴席	議事堂/県庁/福井城址
行程	1F 議事堂ロビー 4F 傍聴席 3F 永年表彰議員, 歴代議長肖像画 3F 議場	19F 行政庁舎交流コーナー (DVD 視聴) 6F 行政庁舎災害対策本部室 4F 議会庁舎議事堂傍聴席 19F 行政庁舎展望ロビー	2F 議事堂議場 10F 総合防災センター 11F 防災行政無線室 7F 知事応接室・貴賓室 県庁屋上, 福井城址
説明内容	議事堂、議場、議会の説明 (パンフ活用)/質疑応答対応	議場の説明	議会の説明/ 質疑応答対応
所要時間	30 分(議事堂)	最大 80 分程度(全体)	10 分程度(議事堂/議場での県概要説明含む)

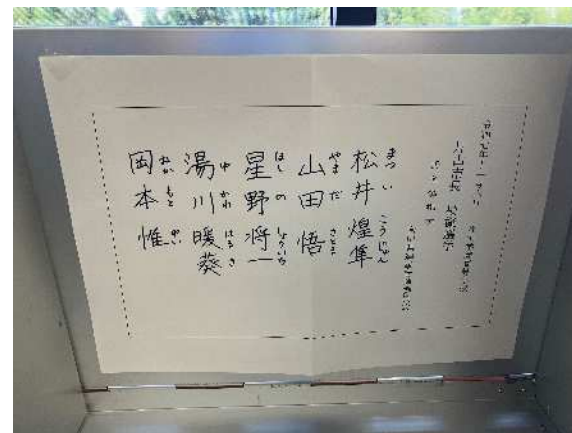
3 対応案

議場見学した小学校の引率教員・小学生を対象としたアンケート調査をまずは行い、その結果を踏まえ、議場見学等の充実に努めてまいりたい。

令和7年度 議会改革に関する行動計画(R7.5.27策定)(抄)

- 議会広報の充実
 - ✓ TOYAMAジャーナルの発行・配架・周知方法検討
 - ✓ SNS等を活用したプッシュ型広告によるPR
 - ✓ WEBアンケート調査により効果的な情報発信検討
 - 主権者教育の推進
 - ✓ 県内高校生にTOYAMAジャーナルを配布
 - 県選管が実施する出前授業との連携を検討
 - 高校等の出前講座で全国議長会作成の主権者教育用リーフレットを活用
 - 議員との交流イベント等を実施
- 第2回会議で
対応報告済み
- 今回の報告事項

出前講座での県選挙管理委員会との連携



- ・ 11/6に実施した片山学園高校での出前講座で、**県選管との連携を試行的に実施**
- ・ 「集めたお金の使い方」は「クラスから集めた30万円」に絞って議論
→ 挙手でアイデアを3～5個程度に絞り込んだ後、**代表生徒による演説、模擬投票**
(一連の流れを各教室内で完結。記載台・投票箱・投票用紙は県選管で用意)
- ・ 模擬投票の前には、**選管職員による選挙の概要・投票方法についての説明あり**

出前講座での県選挙管理委員会との連携

- ・以下の参加者からの意見を踏まえ広報編集委員会で検討し、**改善・一部見直しをしたうえで次年度も連携を継続する方向性を確認**

① 生徒からの感想・意見

- ・ 立候補者の講演を聞き、自分がいいと思った公約に投票することができて実感やリアル感を感じられた。 政治的関心も以前より強くなった。
- ・ 選挙の知識や実際に演説しているときの気持ちがよく分かった。
- ・ 実際に公約を考えて、投票する流れを経験して、選挙に参加できるようになったら投票しにいき自分の声を反映させたいと思った。
- ・ 予想と反して面白かった。 ・ 議員の方に対するイメージが変わった。 など

② 教員からの感想・意見

- ・ 県議会と選管との連携の形で行われたことで、選挙の意義やあり方を理解しやすかったと思われる。
- ・ 議員の人柄にも触れられ、生徒たちも親近感を持っていた。
- ・ 公約は、自分の住む地域についての困りごとや改善点にも視野を広げてもよかったかもしれない。
- ・ 生徒が「とても楽しかった」と口を揃えて言っていたことがすべて。 など

③ 県選管からの感想・意見

- ・ 選挙制度や選挙の意義を伝える時間が少なく、選管側のメリットはあまり多くなかった印象。
(5分で説明→10分で模擬投票を実施)。
- ・ マンパワー等の負担が大きかった(記載台・投票箱の持込み、設置、片付け等) など

主権者教育用リーフレットの活用

- ・今年度実施した複数の出前講座で、全国都道府県議会議長会作成のリーフレットを活用
→1/13の高岡向陵高校での出前講座では、議長会による取材・撮影も実施

授業の内容・流れ、リーフレットの活用方法（一例）

- ① 広報編集委員長挨拶【3分】
(リーフレットを紹介)
- ② 議員自己紹介【2分】
(TOYAMAジャーナル及びリーフレットに触れる)
- ③ 役所の仕事、税金の種類【15分】
(生徒からの発言後、リーフレットを使って地方議会の仕事・役割を紹介)
- ④ 集めたお金の使い方 (1) クラス全員から1万円ずつ集めたら【30分】
各班から出たアイデアを、挙手による多数決で支持の多い2～3個に絞り込む
→2～3つの班の代表生徒によるプレゼンの後、決選投票でクラス案を1つ選ぶ
- ⑤ 集めたお金の使い方 (2) 県民全員から1万円ずつ集めたら【40分】
上記と同じ方法でクラス案を1つ選ぶ
まとめの部分でリーフレットを使い、議会制民主主義について紹介
→「県民100万人の代表として、私たち県議会議員がいる」
- ⑥ TOYAMAジャーナルの紹介【5分】
- ⑦ まとめ・高校生へのメッセージ【5分】



令和7年度「Voice Of The Future」の実施報告

●事業の趣旨

主権者教育の更なる推進を目的として、政治意識の高い北欧諸国の民主主義等について学び、学生と県議会議員との対話の場を創出する高校生主体の主権者教育プログラム「Voice Of The Future」を開催するもの

●スケジュール

全体での活動

第1回活動 対面イベント

9月3日(水)16時～17時30分

内容

- ・VOF事業の説明・チェックイン
- ・スウェーデン人講師から「北欧の教育・民主主義」について講義、質疑応答
- ・次回の活動及び宿題の確認
- ・チェックアウト

第2回活動 高校訪問

10月30日(木)～10月31日(金)

内容

- ・デンマークの教員2名をゲストに迎え各校訪問(半日程度)
- ・形態は参加生徒を中心に決定(全校集会、クラス訪問など…)
- ・デンマークの高校生活、民主主義について紹介、質疑応答など

第3回活動 成果発表会、議員との交流会@議事堂大会議室

12月20日(土)10時～12時

内容

- ・Day1,Day2活動の振り返り
- ・各校の学びの発表、質疑応答
- ・議員と高校生の対話セッション
- ・参加議員から講評
- ・写真撮影 等

各高校の活動

各高校で探求テーマを設定し、事前調査や探究活動を実施。
10月末に実施する第2回活動に向けた企画準備、12月の成果発表会準備等

第3回活動 成果発表会及び議員との交流会

●参加者:

私立高校の生徒20名、教員

県議会議員6名

参加校: 高岡向陵高校、新川高校、富山第一高校、
片山学園高校

奥野議員、藤井議員、針山議員、安達議員、
尾山議員、横田議員

●プログラムの主な内容:

○各校の学びの発表

発表内容

- ・活動を通じて得た学び(北欧諸国の民主主義等)
- ・今後どのように活かしていきたいか
- ・対話テーマの発表(5Whyで作成した問)等

○議員と高校生との対話セッション

学校ごとにテーブルを作り、議員もチームメンバーとして、学生が作った問をテーマに対話を実施

●参加した学生、教員の声:

- 今まで政治について話し合いや意見交換の場の経験があまり無かったため、このような機会を設けていただけたことを、とても嬉しく思います。VOFで学んだことを、周りの人に伝えたり、これからの自分の生活に活かしたりしたいと思います。(学生)
- 活動を通じて、自分の視野を広げ、考え方を変わったり、思考力を発展することができた(学生)
- 参加した学生の主体性が高まった、協働的に取り組む姿勢が見られ、県議さんと積極的に対話する姿が印象的であった(教員)

★議員の役割

- ・生徒の思いを引き出す問(問に至った背景、現状と理想のギャップ等)を投げかけ、対話を実施
- ・社会の視点を共有し、考えを深めるサポート

●写真



令和8年1月16日
議会事務局議事課

オンライン委員会の検証実施について(結果報告)

令和4年度末に規定整備した「オンライン委員会」を円滑に開会するため、各委員会室における通信環境や運営上の課題を検証するもの。

〔 令和5年度 議会運営委員会にて実施（オンライン出席2名）
令和6年度 地方創生産業委員会にて実施（オンライン出席1名） 〕

1 令和7年度実施内容

令和7年12月15日（月） 教育警務委員会（第4委員会室）

午前9時58分開会から午後0時10分閉会まで



○出席委員等

委員8名、説明員29名

→うちオンライン出席

委員2名（議事堂議員面会室から）

○傍聴者等 一般傍聴者あり、マスコミあり

○使用機器等

・ディスプレイ：1台

・360度Webカメラ：1台

・タブレットPC：3台

（映像管理、音声管理、ホスト）

・マイク・スピーカー：一式

2 成果と課題

【成果】・映像と音声の通信が概ね円滑に行われ、オンライン出席が2名の場合でも支障なく議事進行ができた。

・採決について、支障なく実施できることを確認した。

【課題】・タブレットPC（映像管理、音声管理、ホスト）の電力消費が大きく、充電しながらの利用が必須。

・委員会当日にオンライン出席委員との通信テストが必要となるが、オンライン出席の人数や当日の状況等により、議会事務局側の対応者や対応時間の確保が困難となる可能性がある。

3 今後の予定

議会事務局のノウハウ蓄積及び議員の実践経験を積む機会として、年1回程度オンライン委員会を開催する。